

会社体験記

働くことで学ぶ
学院生のリアルをお届けします

高校生を受け入れることで変わる 指導と、学院生のチャレンジ

今日話を伺うのは、株式会社 郷土建設藤村組でOJT(On the Job Training)有償インターンを行う高校2年生の山下勇次郎さん。先輩職人の高館さん、監督いただいている総務部長の山本さんと一緒に、「働くことで学ぶ」感想や思いなどをインタビューしました。

——現在、どんなお仕事をしていますか？
山下「建設機械の整備士として、現場から送られてくる機械の修理・点検をしています。水中ポンプや草刈り機などの小物系が多いですが、たまに重機をやらせてもらうこともあります。最初は道具を持ってくるなどの簡単な作業が中心でしたが、最近はオイル交換作業の手伝いなどもやらせて



株式会社 郷土建設藤村組

地すべりや豪雪から、ふるさとの安全と安心を守る建設会社

昭和29年創業。上越市浦川原から地域インフラを支える総合建設会社。

長年積み重ねられた技術に加え、建築DX(デジタルトランスフォーメーション)にも取り組む。自社のデータ基盤を活用するアプリケーションを自社開発し、全社業務や技術継承に積極的に活用している。

もらっています」

高館「資格などで制限がかかる部分以外の仕事は、大分やってみてもらっています。この部分だけ、という役割分担が難しい仕事ですので、一連の整備修理作業の中で助手として幅広い作業、機種を扱ってもらっています。」

山本「職人は、昔は「見て覚えろ」と言われたけれど、これが意外と難しい」

高館「そうなんですすよね、やらせてもらえることは少なかった。でも、どれだけ見ていても、手を動かすと意外と分かっていないことが多いと気づきます。ですので、山下さんには、できるだけやってみるだけやってみようとしています」



——実際に整備の仕事をしてみてどうでしたか？

山下「やり始める前は、〃案外できるしよ、〃と思っていました。やり始めると案外うまくいかないことが多く、難しいなと分かりました。実際に機械を触らせてもらっていて、キャブレター

(エンジンを構成する部品の1つ)の構造は面白いなと思いました。見落としそうな小さな穴1つでも詰まってしまうとエンジンが動かなくなる。こんな小さな穴でも大切なんだと驚きました。」

山本「専門的な知識やスキルは、自分にこれが必要なんだと分かってきてから、段々と身につけてくるものだと思います。見て気づくようになるぐらいには、機械や仕組みを好きになってほしいですね。大事な部分は気持ちの持ち方です。」

——先輩のみなさんにお伺いします。高校生を受け入れてから、意識的に変えていることはありますか？

山本「なんでも良いように(ポジティブに)捉えようと考えるようになってきた。例えば、「怒る」と「叱る」の違い。そういう言葉の違い……指導方法の変化なども、それを自分達にとってどう扱えるかを考えるようにしています。土木の業界は元々気性の荒いところがありますが、それがマイルドになってきたかもしれません」

山下「最初は、怒鳴られたりすることも覚悟はしていたけれど、働き始めてからそういうことはあまりないと思っています。多少怒られたりはしましたが、それは私が悪いことでしたので……」

——山下さんが仕事で挑戦していることはありますか？

山本「自分で使う道具を、自分で作ってもらっています。職人仕事をしていると、既製品の道具だと角度が合わなかったりすることがあります。そういう時に、作業に合わせて必要なものを自分で作るのも技術の一つです。」

山下「実際にモノとして組み合わせてみたりすると、思っているよりサイズが違ったり、ほんの少しのズレでガタが出たり、まっすぐ動かないぐらい傾いたりで難しい。完成に向けて頑張りたい」

仕事の内容

—— 修理工の見習い

として、建設現場で利用する機械を整備・修理することが主な業務。工事内容や規模に応じて無数にある機械が、現場から戻ってきたタイミングでその都度素早く整備修理し現場に戻していくことが求められる。扱う製品は、水中ポンプや草刈り機、エンジンカッターなどの「小物系」から、バックホーなどの重機まで幅広い。



とある一週間



バックホー(ショベルカー)のシュー交換作業



オイル交換作業

日	土	金	木	水	火	月
休み	休み	OJT	登校日	通信制課程の教科学習	OJT	OJT

1年生の企業見学を実施しました

1年生のOJT(On the Job Training 有償インターン)開始に向けたマッチングが進んでいます。5月からは、実際に企業へ訪問し、職場の空気や社員の様子などを見る「企業見学」がスタート。今回は、2社の企業見学の様子をお伝えします。

えちご上越農業協同組合様

えちご上越農業協同組合(以下、JAえちご上越)は、糸魚川市・妙高市・上越市の3市からなる広域JAで、農家を様々な面から支えています。見学では、総務部人事担当の水島さんと中谷さん、営農部の丸山さんの3名でお迎えいただき、会社概要の説明や倉庫、精米工場などを回りました。「農業は、意外と、田んぼに行つて泥にまみれて…」という仕事ばかりではない」と水谷さんは学院生に説明。

農業現場を支える丸山さんは「JAえちご上越での仕事は、農家(組合員)さんを支えることが中心です。むしろ、農作業以外の仕事がほとんど。とはいえ、農作業のことを知らない農家さんが何に困っているかも分からない。OJTでの3年



間では、農作業に限らず農業の色々な分野を経験してもらうように設計しています。仕事の全体像が分かってくれば、主体的に動いていける機会も作っていきますので、やってみることに挑戦してもらえらると思います」と、OJT内容について補足がありました。

説明後は、倉庫や精米工場などを見学しました。



株式会社ケンシン

ケンシンは、内装を中心に幅広く建築工事で請け負う建設会社で、個人住宅から公共工事、ゼネコンの下請けまで多くの現場で活躍しています。見学では、現場の職人でもあり営業もこなす太田さんがお迎えいただき、会社概要の説明や現場見学、仕事の考え方などを説明いただきました。

内装の仕事について説明を受けたあとは、会社近くの現場へ訪問し、実際の現場を見学しました。訪問した現場は、公共工事として、新しく医療施設に改装している建物内。元請けの建設会社と連携して仕事を進めていることや、柱や壁面ボードの現物などを見ながら、実際に先輩が作業をしているところを一緒に見て回りました。

現場の見学を終えたあと、太田さんは学院生に「ケンシンでは、建設業の悪かったところを変えていこうとして



(現場の外観。現場内部は、安全面等を考慮し撮影なし)

います」と説明。「初めて仕事をするのは、分からないことも多く、誰もが不安だと思います。私もそうでした。なので、ケンシンではきちんと仕事を教えるし、安全面もキチンとする。みなさんは全力で仕事に打ち込んで、技術を身に付けてくれたら大丈夫」とエールを送りました。

お知らせ

Information

6/8(月)~19(金) 1年生:インターン(後期)

6/22(月)~30(火) 2年生:リフレクション

6/22(月)~26(金) 1年生:三者面談期間

6/29(月) 1年生:OJT希望締切

■発行: ライトシップ高等学院

所在地: 〒942-0011

新潟県上越市港町1丁目9-1 直江津港佐渡汽船ターミナル2階

TEL.050-8889-2254

■広報紙 撮影・取材・文 土田 あさひ(ライトシップ高等学院 2年生)

所在地: 〒942-0074 新潟県上越市石橋2丁目6-27

TEL.025-546-7275

広報紙製作: 株式会社グローバルアセットモーションズ